

ハンドサインでストップ運動

～歩行者とドライバー相互の思いやりで、安全で安心な北海道の横断歩道～

歩行者

- 横断歩道を横断する前に、車が来ていないか左右の安全を確認し、手をあげるなど合図（ハンドサイン）をして、横断することをドライバーに知らせましょう。
- 横断歩道手前で停止したドライバーと目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。
- 車が止まっても、左右の安全を確認してから横断を開始しましょう。
- 横断途中も、再度左右の安全を確認し、他の車が来ていないか注意しましょう。



ドライバー

- 道路上のダイヤモンドマークは、この先に横断歩道があることを知らせる表示です。
ダイヤモンドマークを見たら横断歩道の手前で停止することができるよう安全な速度で走りましょう。
- 横断歩道は歩行者優先です。
横断歩行者又は横断しようとする歩行者がいるときは必ず止まりましょう。
- 横断しようとする歩行者に対し、「お先にどうぞ」と手で合図（ハンドサイン）をしましょう。



北海道警察